（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス「たっち」単位1

公表日 令和7年2月5日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・基準を満たしつつも、子どもの体つきに合わせて机等を選定し直す事でスペースの確保を心がけている。	・今後も子どもの様子や体つき等に応じてスペース確保に努めていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・基準を満たしている	・職員の急病等に対応できるようにパート職員の増員も必要である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・雨天時は鉄製スロープが滑りやすい為、日常から階段を使用するようにしている。	・雨天時は滑りやすい場所がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・掃除や消毒等室内、車内、玩具等それぞれに合った消毒を心がけている。	・掃除、消毒を継続しながら安全で清潔な空間作りに努める。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要に応じて、使用できるようにしている。	・継続して必要に応じて空間の確保を努める。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的に実施していると共に何かあれば、その都度会議を取り入れている。	・今後も日々見直しを行いながら、全員が参画できるように努めていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価は、職員にも共通で把握することができるよう会議を行い、改善点を取り組むようにしている。	・今後も日々保護者の方とコミュニケーションを図ることで意向を伝えて頂き、業務へ反映できるようにしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員会議等一人一人が必ず意見を発することができるようにしている。	・継続して日々のミーティングや職員会議で一人一人が発言できる雰囲気を作り業務改善につなげていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・外部評価については法人としても検討の必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・自ら希望も出来、スキル向上の為に研修参加を促されることもあり、確保されている。	・今後も必要な研修の機会を継続ししつの向上につなげる。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		・現在作成中であり、まだ公表に至っていないが令和6年度中に公表していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・アセスメントツールを作成し、それに沿ってアセスメントを行っている。	・今後も子どもさんのニーズと保護者の方のニーズを面談等で確認しながら一人一人に合った計画を作成していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・日常的に子どもの様子を話し合い、全員で考える機会を作っている。	・今後も話し合ったこと等踏まえ計画立案会議を行い作成していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		・いつでも確認できるようにしている。 ・日々忘れそうになっていたり沿っていなかったりする場合は、再度確認し、計画に沿った支援を心がけている。	・今後も日々計画の確認、共有しながら支援を行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・行動観察は重点におき、インフォーマルなアセスメントを行いつつもフォーマルアセスメントと照らし合わせて確認している。	・子どもさんの発達段階に応じたアセスメントを行えるようにツールを用いて行っていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・新しいガイドラインに沿って、子どもさんや、ご家族に合わせて支援内容を設定している。	・今後もガイドラインに沿い、一人一人の子どもの発達支援に必要な具体的でわかりやすい支援内容を設定していくように努める。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・会議を行い、反省点等踏まえて子どもさんからの意見を反映しながら活動内容を検討している。	・継続して会議を行い様々な意見を反映しながら立案していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節行事や買い物、外出レク等好評な活動を取り入れている中で、ねらいを少しずつステップアップしながら取り組んでいる。	・子どもさんの発達段階を考慮しながら成功体験を重ねられるように工夫していく。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・小集団での活動と個別の活動の時間や空間等も工夫している。	・今後も一人一人の発達に応じて、組み合わせた計画を作成していくようにしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼等にて全職員で役割分担し支援内容について打合せしながら、学校等からの伝達事項を踏まえ臨機応変に支援を行っている。	・今後も一人一人の状態に応じて臨機応変に役割分担しながら支援していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		・勤務時間の調整で翌日になることもあるが、振り返りや共通して認識しておいた方がいいことは共有している。	・振り返りでは、それぞれが疑問をもつことを大事にし、共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・計画に沿った内容の記録を心がけている。	・記録のとり方は、支援者側が今後もスキルを向上する必要性がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的に行うのとは別に、個別に変化があった場合にも見直しを行っている。	・今後も成長に応じて適宜モニタリングを丁寧に行っていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		・楽しみながら組み合わせるようにしている。	・今後も様々な活動を複数組み合わせるように努める。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・意思決定や自己選択できる機会や場面を日常の中で取り入れる回数を増やすように工夫している。	・今後も日常的に自己選択、自己決定の場面を取り入れていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参加し、時間帯によっては他のスタッフも参加する。 ・スタッフ全員で共有する時間も設けている。	・サービス提供時間と重複しなければ、出来るだけ複数で参加することで、職員のスキルアップにつなげたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保護者の方の協力を頂きながら、関係機関と連携をとるように心がけている。	・今後も関係機関との連携体制を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校のホームページを確認したり、学校によってはメールで配信してくださるので大変助かっている。	・トラブルの発生においては連絡体制を定期的に見直すことで、対処できるように図りたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・情報提供書や課題等を教えて頂くことで継続した支援につなげることができている。	・今後も保護者の方の同意のもとに、見学や情報提供書を通して、スムーズな移行ができるように取り組んでいく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・保護者の方や、障害福祉サービス事業所、相談支援専門員の方からの依頼に応じて対応している。	・相談支援専門員やご家族の希望を確認しながら、安心して次のサービスへ移行できるように今後も取り組んでいきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○		・会議等を通して、助言を頂いている。 ・連携がとれる体制は整えている。	・機会があれば、連携していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・施設前を通る子ども達や散歩中に会う地域の子ども達と挨拶程度の交流はある。	・地域の公園等での交流にとどまっている為今後工夫が必要である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	・子ども部会には参加している。	・法人内の連絡がうまく調整できておらず、子ども部会には入っているが案内が届かず未だ参加できていない事もある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・気になる事があれば詳しく説明を行い、職員間では子どもさんだけでなく家族の様子を含めて共通理解に努めている。 ・子どもさんの課題だけではなく、些細な事も含めて成長を共に喜び合うことを心がけている。	・今後も一人一人の保護者の方と共にその日の状況や今後の課題を共通理解できるように関係を深めていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・それぞれの家族の状況に合った支援方法を提供できるようにしている。	・子どもさんの特性やご家族の状況にあった方法を伝えていけるように職員で取り組んでいく。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時や最初の場面でわかりやすい説明を行っている。	・詳細を見ながら、今後も丁寧に説明を行っていく。 ・契約後から変更があった場合には説明を行う事を忘れずに行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・加えて、サービス担当者会議で共通理解したこと等も保護者意思として、確認している。	・今後もサービス提供を作成の際には、子どもや家族の意向と照らし合わせを行い作成していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		・モニタリング後に会議を行い計画立案しその都度内容説明を行い同意を得ている。	・今後も丁寧に説明を行いながら同意を得られるように努めていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・希望に応じて事業所内やご家庭に伺い、面談を行い家族支援をしている。	・相談頂いた内容や保護者の方の気持ちに寄り添いながら、共に成長を支えていけるように今後も取り組んでいく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・コロナ５類移行により、保護者の交流会を行い始めた。	・継続して、保護者交流の会を開催し、交流の機会を設定する。 ・兄弟同士で交流する機会は行えていない為、今後の課題である。必要に応じて行えればと考える。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情は職員間で共有し、対応記録等も整備している。出来るだけ迅速な対応を心がけている。	・今後も日常から苦情を頂きやすい関係性を築けるように努めて、一つ一つの苦情を受け止めて問題解決に努めていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・活動概要は月１度、会報（広報誌）は年３回発行し、行事や活動経過を発信するようにしている。	・今後も子どもや保護者の方に合った内容を発信し興味を持って頂けるように工夫していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・書類や掲示物含め留意している。 ・外部からの見学者等の際も留意を怠らないようにしている。	・今後も個人情報の取り扱いには十分留意していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・それぞれにわかりやすいような伝達方法を工夫して取り組んでいる。	・子どもさんと保護者の方それぞれに、工夫をしたわかりやすい、情報の伝達を行います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・法人としては、地域のバザー等の行事に参加している。 ・近隣のコンビニやお店の方は、買い物体験を通じ、事業運営等の理解が深まってきている。	・事業運営はこれからも検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルを策定はし、必要に応じた見直し、訓練も行っている。	・全保護者に対して周知して頂けるように今後も工夫していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・法人全体での訓練と、事業所との訓練を行っている。	・今後も非常災害発生に備え必要な訓練を行っていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・予防接種や服薬は、契約や面談時にその都度確認している。 ・てんかん発作等対象の子どもさんについては、受診時等個別に確認を行っている。	・今後も、保護者の方と連携を密に状況の確認を行う。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・指示書は現在頂く方がいないが、必要があれば指示書を頂くようにしている。 ・また給食提供がある為、契約時に食べたことがない物等も確認している。	・家族からの情報提供をしてもらいながら、状況に応じて指示書を頂くように働きかけていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・年間、月毎の計画を作成し研修や訓練を行っている。	・研修後の反省をいかし、子ども達に合った訓練を取り入れ、安全管理に努めると共に、計画の見直しをしていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		・連絡帳や送迎時での伝達、広報紙等の紙面を通じて行っている。	・今後も家族等との連携が図れるように工夫し周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事例が起きた場合は、速やかに報告書に記載しミーティングですぐに共有し再発防止に取り組んでいる。	・同じ事例がないように、共有の仕方や一人一人の意識づけが課題である。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待に関しては内部、外部それぞれ研修に参加するようにし、チームで適切に取り組んでいる。	・今後も何が虐待に当たるのかを職員全体で考えながら虐待防止に努めていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・契約時や面談時等で同意を得るようにしている。	・やむを得ずあった場合は、記録に残し十分に説明を行い了解を得ていく。